（1）　日刊（除月曜）　昭和21年6月1日（第3種郵便物認可）　昭和24年2月23日 遞信省特別扱承認第238號　いわき民報　夕刊　昭和25年2月3日　（水曜日）　第1137號

いわき民報

發行所
平市田町48 電381．176 1222
いわき民報社
編集發行印刷人 田原登

小名濱港埠頭入口
港の殿堂
大衆向料理輕食酒場 ハトバ莊
社交ダンス各種團体會集用 ハトバホール

漁船二艘が沈沒

一艘は坐礁、飛込んだ十五名救助

暴れた昨夜の强風被害

三十日夜から三十一日朝方にかけて吹きまくつた强風の爲三十一日午前二時ごろ小名濱港に碇泊中だつた小名濱町字竹町高橋忠治氏（四九）所有底曳船新榮丸（二七トン四）がロープが切れたため流失し岸壁に激突して沈沒、また同港内にいた茨城縣大津町字中町鳥居勇次郎氏所有福勞丸（一〇トン八四）も午前四時ごろ機械故障で浸水し沈沒、また運輸省小名濱港修築事務所曳船百七十號船も激浪にあおられて船曳場前に坐礁したが何れも人員に支障はなかつた、また三十一日午前九時半ごろ植田町署に植田町小名濱海岸照島附近で沈沒船がある旨屆出があつたが同署の調べによると勿來町九面赤津一郎氏所有大澔丸（トン數不詳）で激浪のため沈沒船長渡邊富太郎氏ほか十四名は海中に飛込んだため全員救助された

七名行方不明

淸協丸？打揚げらる

三十一日朝小名濱町日本水素裏海岸に當る防砂堤わきに打上げられた漁船があるので小名濱海上保安署で現場に急行調査中だが午後二時までに判明したところによると同船から流れた小櫓に『丸小』の印と共に九面港淸協丸と記してあつたので勿來町大字九面小松淸氏所有淸協丸（九・二七トン）と判明、早速船主に急報したが現場は激浪が激しく近寄れないため詳細不明、若しこの遭難船が淸協丸だとすれば同船には七名が乘込んでいるので全員遭難したものと見られている、なお淸協丸は植田町小濱海岸で沈沒した勿來町九面港の大澔丸に機械故障のため曳航されているうちロープが切れそのまま行方不明となつていたものらしいと保安署では語つている

最大廿二米の强風

今夜も突風の虞れ

測候所觀測

小名濱測候所の觀測によると三十一日朝方に吹きまくつた强風は九州西方海上から東進した三つの低氣壓のうち一つが本縣沖を通つた爲で最大瞬間風速は三十一日午前五時四十四分の南風二十二・二米で平均最大風速は午前六時の南十八・四米であつた、同所では三十一日夜今一つの低氣壓が本縣沖を通るので突風の起る心配があると警告を發している

馬目豊間町長

腦溢血で重態

豊間町長馬目常吉氏（六九）は三十日午前八時半ごろ腦溢血で倒れたがその後昏睡狀態を續けて重態

不良二名送検

上遠野村瀧農業瀨谷某（一七）同村表農業伊藤某（一七）の兩名は二十四日午後七時半頃同村根岸地内馬上橋附近を通行中の同字農業渡邊達也君（一八）外一名を脅かし現金四十円を强奪更に達也君をして持つていた小麥粉を近くのパン屋でパンと交換させこれまで奪つたことが判り二十九日植田地區署に捕まり三十日送檢された

珠算競技會

十一日 平商高

平商高校では商工會議所、縣實業教育振興會の後援で十一日午前九時から全校に平、石城、富岡地區の各中學校生徒の第一回珠算競技會を開催する

公衆電話から見た

石ころや紙屑で通話

市民道德の頽廢振り暴露

市民道德のバロメーターとも云うべき平市内の公衆電話料金の徴收具合は相變らず悪い、平電氣通信管理所の話によると平市内の公衆電話は磐城跡と驛前、十五丁目の三ヵ所、昨年十一月は十二円（十二回分）の赤字だつたが十二月に入ると急に赤字が殖え磐城跡は二千七十円の收入に對し實收は千六百二十一円十五錢で四百四十九円八十五錢十五丁目は六百二十円の實收見込みに對し三百七十七円で二百四十二円九十一錢、驛前は四百三十四円に對し二百三十一円七錢で二百一円九十三錢の缺損となり合計八百九十四円六十九錢（八百九十四回分）の赤字となつた

料金の同收率から見ると磐城跡、十五丁目などは實際かけた數よりも約三分の一程度しか入つてなかつたと云う不履行振りで料金函の中には紙片や石ころなどが入つており中には入れましたと云つて交換孃を誤魔化してゆくと云うのが多くなつていると係官を嘆かせている

平電氣通信管理所談＝（公衆のサービスとしてお札でも通話出來るようにしたのだが今回の處置です當所としては赤字が出ても市民の良心に訴え續けて行きますが石ころや紙屑はなるべく入れずに通話して戴くように願います

勞災保險の危機突破へ

實態調査

平勞基署では保險經濟の危機突破對策として二月三日から三月末日まで署長ほか全署員が出動して管内の全事業所に對し保險料についての賃金調査を實施することになりこの調査を基本として危機突破對策資料とすることになつたが惡質者には斷乎たる處分をとることになつた、一月中旬現在までの事業場保險料未納額は五百万円、三百件に上つている

四万圓拾つて屆出

正直な鈴木和夫君

平市五丁目の鈴木和夫君（一九）は三十日午後六時半頃同市大工町志賀醫院前の道路を通行中風呂敷包が轉がつているのを發見、中を開いて見たら現金四万円が入つていたのでびつくり仰天、早速平市署に屆け出たが、落し主の屆出は一向に無くこの金詰りの世の中にのんびりしている人もあるものだと係官も一驚の体

磐女の舞台に照明設備

同日座談會

磐城女子高校演劇部では學校舞台の完璧を期すため三、四の兩日同校講堂に照明設置をほどこすべく舞台照明の專門家であり文學座の照明責任者の穴澤喜美男氏を招き設計することになつている、なお四日午前十時より同校に於て平地區高校演劇連盟後援のもとに穴澤氏をかこみ座談會も開く豫定で一般の參加ものぞんでいる

一月から鹽自由販賣

鹽が自由販賣になつた－鹽の自由販賣は昨年十月から十二月まで暫定的に行われていたが、今度指定配給物資より除外され一月から自由販賣となつたので各家庭にある家庭用鹽の購入劵も不要になつた譯なお今後新らしく販賣人になろうとするものは專賣公社に連絡することになつている

配給もの

キャラメル

勞務者用

平勞基署では管内事業所の勞務者に對し森永キャラメル十六コ入一個二十円を特配することになり希望者は二月十日までに一括して申込まれたいと、なお事務員勞務者でもかまわない

磐炭協

三日闘委會

磐炭協では三日斗爭委員會を開き、本部指令第二號（實力行使を一月三十一日迄各山で決定する）の件に就き審議する、これは中央の一月以降新賃金交渉に對し各組合が最惡の場合に於ける態度を決めるもの

七濱俳句會

五日開く

七濱俳句會例會は五日午前一時から平市公園春木亭で開く兼題は雜雜五句、會費三〇円

學校圖書館教育研究會

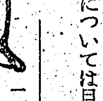
廿五日、平三小で開催

二月二十五日午前九時から平第三小學校に『學校圖書館教育研究會』が開催され、指定校、加盟校等の敎官が集まり第三小の學校圖書の學習指導と運營方法等を發表する

未拂で送檢

下瀧炭鑛の所長らを

平勞基署では三十一日植田町北台町下瀧炭鑛鑛業所長大河内源治郎（五九）同專務取締役平三定雄（四五）の兩人を賃金未拂の容疑で送檢した、兩人は資金難を理由に昨年六月分から十一月分までの賃金三十八万八千百四十六円を支拂わなかつたもので特に平川は政府からの補給金三十七万円を流用し勞務者の實情もかえりみなかつたもので惡質者と見なされているなお流したものについては目下調査中である



二月一杯道義昂揚運動を展開することになり一日關係者が集つて座談會を開くことになつた、近頃經濟生活が少しよくなるにつれて頽廢した道義も少しづつよくなつて來つつあるように感じられる、處でその座談會にはお定りの指導者階級が出るようであるが、此の指導者のうちには道義とは凡そ反對な方向で活躍し法律にさえ違反しなければよいものと人生を圖太く送つて來た鼻持ちならぬ御仁も出席して道義に關するお話をするわけであろうからその圖はまことに珍であるが、見る人によつて珍でない世の中になつている、此處にこの運動のムズカシさが在る、公衆電話に石ころや紙屑を入れてゼニと見せかけ通話する不良の中には茶目氣でやつたものもあろう、電車の只乘りや門松をぶつたおしたり、看板を掛け替えたりするイタズラも茶目氣から出ている場合は深くトガメルことは野暮臭いが、紳士の假面を被つて社會を混亂させる惡質なイタズラは社會惡の習慣をつくるから斷乎排擊すべきであろう

天氣予報

卅一日

【今晩】北西の風時々强く晴一時曇の天氣北部沿岸及び山沿地方ではしぐれることあり

【明日】北西乃至西寄の風やや强く天氣良く時々雲が掛かる海上は今明日とも季節風により相當風波が立ち特に今晩不連續線通過の際は突風の起る恐れあり漁船は注意を要す、

當社專務取締役深川淸殿豫而病氣入院中の處藥石効なく二十八日午後八時急逝せられました生前の御交誼を深謝して御通知申上げます

追而 告別式は社葬を以つて來る二月二日午後一時平市胡摩塚二二三番地宅にて相營みます

昭和二十五年一月三十一日

平市長橋町七十二番地

東洋自動車工業株式會社

4日まで上映中
流麗の名筆故菊池寛の遺作遂に映畫化！
『處女寶』 脚色 野村浩將 監督 島耕二
待望4大スター顔合せ
上原謙 高峰秀子 山村聰 高杉早苗

7日より
脚本谷口千吉・黑澤明 監督谷口千吉
新東寶新春超大作 曉の脱走
命かぎり握り合つた手と手から血の温みが消えてゆく
女体に愛情の鄕愁を求めた兵隊が熱砂に死の花を咲かす
絕望の大ドラマ
山口淑子 小澤榮 若山セツコ 清川莊司
池部良 伊豆肇 田中春男 利根はる惠

14—15日
影を慕いて
上原 山根のコンビ

總天然色映畫
南極の末期の地に大自然を極めんとする一隊があつた…だが大自然は何故かれ等を呑んでしまつたのだろうか？
イーリングスタヂオ超大作 南極のスコット
16—17日

入場料金 毎週五〇エン
内郷 第二イワキ

藤越の包裝紙圖案
お選び下さい
當店陳列窓の圖案十點の中皆樣のご投票で決定いたします
一、投票用紙 多少に拘らずお買上毎に一枚差上げます
二、投票箱 當店陳列窓側
三、〆切 二月六日
四、發表 二月七日
◎當選作にご投票の方の中より抽籤三十名樣に粗品進呈
越
デパート 藤越
平市銀座 電二六五
新停留場 『藤越前』
二月一日より各線往復共バスが停ります。切符賣場は藤越入口にあります。御利用願います。

綿補助小切符廢止
綿製品は2月1日より
點數のみにてお買求め
出來るようになりました
豐富取揃えてお待ち致して居ります
ブロード晒……111円58
〃 黑……123円42
プリント……93円66
縦縞……98円03
手拭……32円50
平市白銀町 川又商店

・盛況御禮・
◎この好機をお見逃しなく！
銘仙と服地の特賣會
……季節の用品を豐富に取揃えて御來店をお待ち致しております……
衣料品の店 かみや 平市二丁目 電256番

水産版

縣指導船共盛丸（一二八トン）は目下鹽釜に廻港中だが七日頃延縄に出漁豫定

懸案の底曳無許可船整理
小名、江名は諒解
縣水産事務所 基本方針示す

各ハマにとつて悩みの種となつている無許可底曳船の整理がいよ〳〵縣水産事務所の斡旋で話合が進められ基本的な問題については江名、小名濱、九面の各港とも一應諒解が出來、あと余すところ豐間以北の四倉、久之濱、原釜港となりこれも一、二カ月中には第一回の會合を開き基本方針について諒承を求めることになりここに懸案の無許可船整理問題もようやく第一歩をふみ出した

業者側とこの難問題の折衝を行つている縣水産事務所越坂技師の話によると

千葉、茨城、福島三縣入會協定に伴う許可權の購入した業者はそのままとしてこの處置のとれない無許可船に對してはサメ、雜延縄、傳導艇などによつて操業して行くよう轉換をすすめることにしこれに不服で應じない者には結局取締を強化して防止するようになるとの線で進んでいるがこの無許可船の多い小名濱でもこの線に該當する業者側も已むを得ず協力することになつたわけ、同事務所では諒解の出來た江名以南の無許可船は江名は殆んど該當船がなく小名濱に三十隻、九面に六隻、更に未交渉（二十九日現在）の豐間以北の該當船は五十隻位になるものと見ている模樣だがこの基本方針を先ず諒解させ具体的な轉換方法等の問題は追つて行うことにしている、勿論この無許可船の整理はなまやさしい事業ではなく完全に終了するまでには約二カ年位はかかるだろうと見て水産事務所側でも本腰を入れている

卅統入會可能か
北海道鯖旋網
來る十日小樽で協議會

縣水産事務所では二十八日北海道鯖旋網入會問題について始めて道廳水産部宛に公文書を發した、これによつて縣でも正式に旋網の北海道入會問題について交渉出來ることになつたわけである、業者側の言分では現地の業者と個別的に接衝して來た結果、本縣からは三十統の揚繰船が入會することに一應諒解が出來たが問題は北海道まで遠征するとすれば一繰當り操業資金五百萬円はかゝることになりこれを全面的に本縣業者が引受けるとなれば相當の重荷でありこの間の妥協が注目される、またこの第一回兩者間の入會問題協議會は來月十日小樽市北海ホテルで開き各關係縣からも出席して審議することになつているのでこれをきつかけとして同入會問題も相當具体化して來ることになる

ただ今度の入會をめぐつて果して業者側の觀測通り三十統が入會出來るとすれば四年越のイワシ不漁で弱つた揚繰業者もこゝで一息つけることになり一統四隻として百二十隻の大漁船團が北海道に向け出港、緊急の乘切策として出掛けることになる譯だが万一この入會が不調に終るようなことがあるとすれば自滅する業者も出かねない状況にあるので本縣旋網業者は非常な關心を寄せ成行を見まもつている

ブロック檢査打合
意見纏らず
次回三月秋田縣で

水産廳主催の北海道關東北ブロック水産檢査製品打合會は二十四、五の兩日本縣飯坂温泉に於て開いた、水産廳からは水野水産加工課長、新村技官、關係縣は北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、千葉、東京、係官で同會議に出席した松井縣水産事務所長の話によると協議題は

△指定農林物資檢査運營方針△手數料値下げについて△今後檢査運營について△檢査法改廢に伴う前後處置について

等で特に指定農林物資檢査運營方針については各縣の案をもちより意見を出したが結局まとまらずその他の案件も結末をつけず次回に審議することになつた、今度は三月ごろ秋田縣で開く方針だがそれまで宮城縣が肝入役をつとめ各縣の意見を一括してまとめることになつた

港内艇配屬
小名濱港の整備進む

海上保安業務の整備に着々進んでいる小名濱海上保安署に今度は港内艇「黄菊」が二月上旬に配屬になる、この港内艇は乘組定員三名で五トン、舊海軍の内火艇である、この「黄菊」の到着により今後は港内の違反行爲の取締は勿論、隨時在港船舶の臨檢などを一層活潑に行うと同署では云つている

冷凍罐詰
輸出向冷凍罐詰は八千貫
二月の縣外出荷計畫なる

縣水産事務所では二月分の鮮魚出荷計畫を次の如く發表した、これによると前月より四十万一千貫の減となつているがこれはサンマ漁が終了したためであるが輸出向け冷凍並に罐詰の原料を確保したのも注目される（單位千貫）

【縣内出荷計畫】（出荷先）△福島七三△郡山五七△會津六八△磐城四一△須賀川一五△白河二九△石川一〇△原町二〇△中村九△植田二二△地元消費一二△加工原料三八△特需向四（出荷港）△小名濱八四△江名町五八△四倉一五九△久之濱三三△勿來二〇△中村二九△豐間五

【甲級陸地出荷計畫】（出荷先）△東京七五△横濱一一△福島二一△栃木一二△群馬一二△埼玉五△山梨六△長野八△炭鑛二五△茨城二△餌料地元工場七△輸出冷凍△輸出罐詰四（出荷港）△小名濱一三五△江名一八〇【乙級陸地縣外指示】（出荷先）△東京五△長野二△山形一△横濱二（出荷港）△四倉九△中村一

トンボ好漁
野島沖で延縄賑う

本縣の大型遠洋漁船は殆んど延縄マグロ漁に轉換しているが縣水試無線局に漁況を聞くと出漁船は十二、三隻、何れも二、三航海中のものが多く、漁場は野島岬の南沖合で三宅島附近一帶に及んでいる、水温は十八、九度で大体一航海二十日間位だが七八千貫は獲つている模樣で好況、漁獲物はトンボが多くメカジキ、バチ、サメもとれている、トンボは目廻り三貫匁程度のもので粒もよくここのところトンボを追う延縄漁船は南の漁場を狙つて活氣がある、水揚は大抵母港に行つているが舊正月前のため各船とも一稼に大童である

漁業協組
貯蓄增强協議會

縣下漁民に貯蓄心を煽ろうと農村中央金庫、縣水産課の係員が次の日割で相馬、双葉、石城郡の地域毎に漁業協組貯蓄增强協議會を開いている、同協議會では信用事業の育成強化、出資金の充實などをとりあげて話合をする

△三十日相馬郡（中村漁業協同組合）△三十一日双葉郡（双葉地方事務所）△二日石城郡（縣水産事務所）

珍らしい
“萬鯛”
平市にお目見得

平市内のお魚屋さんに〃万鯛〃と稱する大きな鯛が入荷して市民を驚かした―これはニンベン魚市場が江名から入れた万鯛六尾で目廻りは十貫匁から十五貫匁もある大きなもの、丁度カガミ鯛を赤くして大きくしたような格好、同市場の話ではマグロ船が釣つて來た遠洋魚で中味は中トロと云つたところの珍味十五貫匁一尾でザット六千円、丁度刺身の魚が不足していたので重寶がられたが刺身にするとヒラメより安くつく、今までは漁師の喰料になつていたものだが最近始めて市場に出されたもの

十五分で連絡
巡視船と保安署間 漁業無線が協力

小名濱海上保安署では二十八日小名濱、江名兩漁業無線指導局長を招き鹽釜海上保安本部から宇井通信課長も出席し業務調整協議會を開き今後遭難船が發見された場合兩無線局の協力を得て海上に出動中巡視船にその旨を傳え急速な救助態勢を整える事になつた今まで小名濱海上保安署では巡視船うずらに指令並に報告を求めても漁業無線は使えないことになつているので鹽釜の本部に一々陸上電報か電話で連絡し本部から更に無線で連絡したため時間がかゝり船からの報告などは銚子海岸局を經て來たものを見ると四時間も掛る有樣であつた、今度の業務調整に依れば漁船からSOSを受信した場合直ちに兩漁業無線で鹽釜の本部に發信され本部から更にうずらに電信されるので小名濱から發信して巡視船まで到着するのには僅か十五分で濟むことになつたため海難救助陣に齎らす影響は大きいものがある

小名濱港に
浚渫船
七米深くなる

今度小名濱港に六百トンの浚渫船が入つた、これは運輸省小名濱港工事事務所が十万立方米に亘る浚渫を行うために曳航して來たもので三十日ごろから始める、同船は一時間一千立米の浚渫能力があり取あえず三千トン岸壁前から着手する、これによつて港内は七米半現在より深くなるわけ

縣水試無線局
△△△△△移轉を急げ
定期檢査の結果強調さる

小名濱町縣水試無線局では十九日から二十三日まで東北電波監理局から六名の係員が來て定期檢査を受けたが特に電界強度及び波形分析、雜音調査、アンテナ輻射の調査では現状のままで放置せず相當の處置をとるようにと注意を受けた、このため同局では縣水試を經て縣にその旨を傳え新年度事業として計畫中の同町富ヶ浦公園内への新局舍建設を一層急速に實行して貰いたい事を強調している

眞野川に
孵化場
縣で百萬補助

縣水産事務所では相馬郡眞野村眞野川漁業協組が百四十万円で九十坪の鮭の孵化場を二十五年度事業として建設することになつたので縣に百万円の補助費を申請した、殘額四十万円は同協組の負擔で一カ年三百万粒の孵化を計畫している、なお今年の孵化に間に合うよう十一月までに完成する豫定

海上保安協會の役員會

海上保安協會縣支部第一回役員會は二日午前九時より小名濱海上保安署で行い二十五年度收支豫算、事業計畫、細部規定の改正等を協議する

今週の潮

	滿潮		干潮	
卅一日	四、五〇分	一三、三〇分	九、一五分	二一、三〇分
一日	五、〇五分	一四、一五分	九、四〇分	二二、〇五分
二日	五、二〇分	一五、〇五分	一〇、二〇分	二二、五五分
三日	五、四五分	一五、五五分	一〇、五五分	二三、一五分
四日	五、三五分	一六、四五分	一一、一五分	二三、五五分
五日	六、一五分	一七、三五分	一二、三五分	
六日	六、四五分	一八、一五分	〇、三五分	一三、三五分

週間漁業氣象

氣壓の谷が一日ごろ通る見込みでこの頃一時小雨、華北方面より東進する高氣壓は三十一日ごろ當地方を通る見込みでこのころ天氣恢復し氣温は三日頃は平年並かやや高めで季節風一時つよくなる

千二百万圓
保險支拂高

福島縣漁船保險組合で二十四年四月から十二月までに支拂つた保險は二十一隻千三百五十二万千五百七円十八銭（うち全損五件）内譯次の通り（括弧内分は分損、全は全損、救は救助費を示す）

【小名濱】△共運丸（分）八万六千四百三十円△光陽丸（分）十七万円【江名】△日新丸（全）五十万円△八坂丸（分、救）三十四万三千二百四十円△江漁丸（救）四万四千六百四十五円△第三喜久丸（分）十四万三百三十四円△海運丸（分）五万七千三百十八円△第十一長久丸（全）百万円【中作】△第五北州丸（全）二百七十一万二千九百四十円△第二昭和丸（分、救）二百四十三万四千六百八十一円△第五榮福丸（分）十四万九千九百六十二円△第八長榮丸（分）十二万三千三百十七円△第二漁運丸（分、救）八万七千七百十九円△太洋丸（分、救）九十七万九千四百十九円△榧現丸（分、救）百万円△第七稻荷丸（分）四十万円△第七榧現丸（全）百七十万円△源德丸（全）百四十八万六千六百六十五円【四倉】第二八幡丸（分）十万九千二円【久之濱】△第二三好丸（分）四千百二十九円△第二旭昌丸（分）五千七百二円

中華料理
華香樓
電七〇二番
そば一ツ料理一品でも
早速御屆け致します

三馬弘進
ニセ物に御注意
最近神戸京濱地方の多數工場で弊社の登錄商標『弘進印』と同一マークをつけた類似のゴム長靴を多量に製造し全國的に販賣して居りマークは勿論外觀が巧妙に模造してありますので皆樣方には一見區別がつかないのでありますが使用致しますと全く粗惡な品物でありますから確實な弊社製品を御希望の方は『三馬弘進ゴム代理店』の看板を揭げた信用あるお店からお求め下さる樣御願い申上げます
三馬弘進ゴム工業株式會社
仙台市行人塚十五番地
代理店 小島ゴム店
小名濱町第一小學校前
電話三四〇番

2月1日開店
江戸前小料理・仕出し
銘酒と味の店
天ぷら自慢
てんきん
天金
和洋御料理
御會合・御商談に
小名濱町上町通り 電一五一番

ぢ疾 でお困りの方にぜひおすゝめしたい
評判の專門藥が御座居ます
どうぞ一度御來談下さい
藥は信用第一
信賴して御相談下さい
小名濱町本町
ダルマ藥局
電話三二番

最高目藥 アーガス 80円
タウリン エキス 120円
セキ止メ、肺炎の良藥あり
平市五丁目
平藥局